

広袴祭り

広袴町内会
会報第 61 号

発行日
令和 5 年 10 月 7 日

発行責任者
広袴町内会
小堺 幸男

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもも年寄りも大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にする町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

第一回調整池周辺草刈り

七月二十三日(日)、環境衛生部主催で令和五年度第一回「調整池周辺草刈り」を行いました。

梅雨明けの翌日、晴天！気温三〇度でムシツとする朝九時から、約百名(広報担当の目視点数)に参加いただきました。

夏休みということもあり、お子さんの参加も多く見受けられ、笑顔もあり、和気あいあいとした雰囲気の中、汗まみれになりながら、草刈りや清掃に取り組んでいただきました。

熱中症対策のため、水分補給部隊も出勤し、調整池周囲を巡回。

草刈り後の調整池周囲は、スッキリきれいになり、広袴公園の散策や散歩も気持ちよくなり、と思います。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。

第二回調整池周辺草刈りは、十一月を予定しています。

消防団 優勝！

六月十八日(日)、ポンプ操法第三分団大会が行われ、われらが広袴町内会の消防団第七部が見事優勝しました！

わたしたちの町の消防団の素晴らしい結果に誇らしさを感じずにはいられませんが、第三分団第七部のみなさん、本当におつかれさまでした！そしておめでとうございませう！

また、消防団では消防団員を募集しております。興味のあるかたは、広袴町内会役員までご連絡ください。みなさんのやる気、お待ちしております！



右側から
指揮者・渡辺部長、1番員・工藤副部長、2番員
猪股団員、3番員・道願団員、4番員・関班長

納涼夏祭り



毎週水曜日の稽古、お疲れ様でした



令和五年八月五日(土)十七時より、広袴公園多目的広場にて、約四年ぶりの広袴町内会納涼夏祭り大会が実施されました。

町内会の皆様、太鼓・盆踊り関係者の皆様、消防団の皆様、役員の皆様、この暑さの中で当日までの準備、運営、片付けと本当によりがとうございました。

連日の猛暑日だったため、当日の気温も気がかりでしたが、夕方には気持ちの良い風が吹き始め、とても過ごしやすい絶好のお祭り日和となりました。

焼き鳥・生ビール・フランクフルト・じゃがバター・焼きそばの出店はどこも大人気で、久々の夏祭りを楽しむ人々で賑わっていました。子供会のくじ引きとコルク投げは、子どもたちに大人気で、二回、三回と挑戦する子もいました。友達ともらった景品を見せ合う姿も微笑ましいものがありました。

お知らせ

広袴町内会スケジュール

10/22(日)

鶴連交流事業 運動会
(野津田公園 陸上競技場)

10/29(日)

大規模災害防災訓練(広袴公園)

11/11、12 (土、日)

作品展示会

11/12 (日)(予定)

クリーンアップデー(調整池)

12/29、30(金、土)

歳末パトロール



各出店、各係の様子



(株)光陽測器製作所

本社/〒195-0056 東京都町田市広袴2-17-14
TEL.042(736)0959 FAX.042(736)0453

吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00 ~ 12:00
午後 3:30 ~ 6:30
日・祭日/休診

町田市広袴 3-3-11 ☎735-3487

広告募集

ご相談は最寄りの町内会委員
まで

お祭り気分を盛り上げる太鼓や、盆踊りの方々も久々の夏祭りを寿ぐような晴れやかな笑顔。出店の町内会の方々や子供会の方々も笑顔。並んでお目当ての食べ物お待ち望んでいたかのような和やかな笑顔でした。

お祭り会場でバッテリー学校の友達と会って手を振り合う子どもたちや、久々に顔を合わせるママ友・パパ友、ご近所の方、夏祭り会場の至るところで楽しそうな会話が笑顔で弾んでいました。

広袴おりおり

第33回



日本屈指のスポーツ根拠地

里山に囲まれた神明神社の北側を川崎市麻生区方面に少し下ると右手下方にサッカーグラウンドが見えてくる。全体が見渡せるので選手の練習風景に出合えることもある。そこは周知の通りJ1リーグの川崎フロンターレ麻生グラウンドで、トッブチームのトレーニング施設である。

川崎フロンターレはJ1リーグで近年(二〇一七年から二〇二二年までの六年間に)四度も日本一に輝いたチームである。当然その間の選手たちは超一流揃いで、海外移籍をし、日本代表に選出された人も多い。その代表例が昨年(二〇二二年)ワールドカップで目立つ活躍をした三苦薫選手である。そして紙面の都合で名前を列挙できないが、彼を含め一度でも川崎フロンターレのトップに所属していたワールドカップ代表メンバーは七名にも及ぶ。つまり広袴は、すぐ隣接に日本屈指のプロサッカーチームの超一流選手たちがトレーニングする根拠地がある町ということになる。それを裏付ける一例が、長くチームを牽引した立役者、中村憲剛氏が二〇二〇年に引退した際のNHK特集番組の放送である。インタビューの際の背景に映っていたのは麻生グラウンドであった。なお町田市にはJ2リーグのFC町田ゼルビアがあることを忘れてはならない

が、場所が小野路なのであまり身近な存在とは言えない。逆に麻生グラウンドでは子供向けサッカー教室が運営されているお陰で広袴などの地元と密着している。

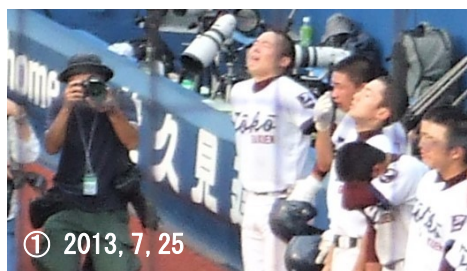
さて、その点では尾根道の県境を挟んで北側に接する桐光学園高校も同様の存在である。町田市内には甲子園で三度優勝している日大三高があり応援候補であるが、場所が図師なのであまり身近とは言えない。逆に川崎市内ながら桐光学園の方は広袴から歩いて通うお子様がいるし、また通勤通学などで栗平駅方面に行き交う際、目に入るグラウンドのサッカー部の練習風景がまるで観客席から眺めているかのよう感じられてとても身近である。

そのサッカーグラウンドが人工芝に全面改修工事されていく様子を横目に見て「凄いなあ」と驚いたのは二〇一八年のこと(十月竣工)だったが、なんとその翌年に結果を出してインターハイで悲願の全国優勝を成し遂げた。また今年二〇二三年にも準優勝している。つまり広袴は全国トップレベルの高校サッカー部の練習や試合を身近で眺められる町なのである。

野球部も強い。強豪ひしめく神奈川県において四度の甲子園出場を果たしている。全国優勝こそないが、二〇一二年夏の甲子園において当時二年生の松井裕樹投手(現楽天)の大会史上最多の十連続三振と一試合二十二奪三振の凄烈な記録は忘れ難い。その当時筆者は、まるで追っかけのように桐光学園野球グラウンドの外野フェンス

外側の道路から練習風景を何度か眺めに行っている。長い甲子園の歴史で、かくも偉大な記録を打ち立てた選手がすぐ近所で遭遇していることに心躍った。なお松井投手は周知のように、今年春、大谷翔平投手らの活躍によって世界一を奪還したWBCの日本代表のメンバーに選出されるなど現在プロで活躍中である。

松井投手が三年生になった時の二〇一三年の夏は非常に注目された。近所で練習を眺めた余勢も手伝い、筆者は神奈川県大会準々決勝の横浜高校との試合を横浜スタジアムまで観に行った。



① 2013, 7, 25

結果は二対三の惜敗。筆者撮影の写真①は敗戦直後ベンチ前に整列した桐光サインである。左端の松井投手は誰よりも号泣していた。ところで桐光学園と川崎フロンターレと(下記)国士館大の三地点を結んだ土地こそがほぼ広袴町内会である。一帯は日本屈指のスポーツ根拠地と言えるであろう。

悠然と野鳥飛び交う里山のグラウンドから三苦羽ばたく (16組 篠田泰蔵)



余話

広袴の一丁目一番地は国士館大学の所在地である。写真②の街区表示板が貼られた壁面の反対側は同大学敷地で、広袴町内会には属さないが同じ町内同士ということになる。

国士館大学もサッカー部が昨年、「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」で見事優勝している他、各種競技で活躍している。また今年六月、柔道部が「柔道・全日本学生優勝大会」の伝統の体重無差別七人制団体戦で斉藤立選手の貢献により日本一に輝いた。彼の父はロサンゼルスとソウルのオリンピック金メダリストの故斉藤仁氏である。そして現在、立選手も来年のパリオリンピック日本代表選手に内定している。



②